

クラブ計画書

2015 – 2016



Be a gift to the world



第 2670 地区
宇和島ロータリークラブ

目 次

R. I. 会長メッセージ.....	
第 2670 地区ガバナーメッセージ.....	
宇和島ロータリークラブ運営方針.....	
2015-2016 年度 宇和島ロータリークラブ役員・理事.....	
2015-2016 年度 宇和島ロータリークラブ委員会構成.....	
2015-2016 年度 行事予定表.....	
クラブ概況.....	
宇和島ロータリークラブ内規.....	
委員会活動計画方針.....	
職業奉仕委員会活動計画.....	
社会奉仕委員会活動計画.....	
国際奉仕委員会活動計画.....	
新世代活動委員会活動計画.....	
ロータリー財団活動計画.....	
米山奨学委員会活動計画.....	
環境保全委員会活動計画.....	
クラブ奉仕委員会活動計画.....	
出席委員会活動計画.....	
親睦委員会活動計画.....	
ロータリー情報・雑誌・広報委員会活動計画.....	
会員増強・分類選考委員会活動計画.....	
会員選考委員会活動計画.....	
プログラム委員会活動計画.....	
スマイルニュース委員会活動計画.....	
姉妹クラブ特別委員会活動計画.....	
S. A. A. 活動計画.....	
宇和島 RC の明日を考える委員会活動計画.....	

RI 会長メッセージ

2015-2016 年度 国際ロータリーのテーマ

「世界へのプレゼントになろう」

国際ロータリー2015-2016 年度会長 K. R. ラビンドラン

2015-2016年度テーマ「世界へのプレゼントになろう」

私たちの人生には、いつか終わりが訪れます。しかも、終わりは思ったより早く来るものです。この限られた人生をどのように過ごしたらいいのでしょうか。世界が良い場所となるよう、人のために何かしますか。それとも、インドの著名な詩人、ラビンドラナート・タゴールの言葉のように、「楽器の弦の張替えばかりしていて、肝心な歌を歌わずに」毎日を過ごしますか。ロータリーの栄光は、まさにその「歌を歌う」道を見つける手助けをしてくれることにあります。人生で本当に大切なことに目を向け、私たち自身が世界への贈り物となる方法を見つけることで、より充実した意義ある人生を送れるよう、私たちを導いてくれるのです。

友人に何を求めるかを考えると、ほとんどの人は、高潔性、信頼性、思いやり、相性を挙げるでしょう。私たちが求める友人とは、必ずしも自分と似通った人ではなく、自分にはないものを持っている人、自分のいいところを引き出してくれる人です。私は、ロータリーがその特徴を備えていると思います。

ロータリーは、私たちの資質を引き出し、それを人生で生かす道を見つけてくれます。私たちは往々にして、あまり意味のないことに捕らわれて毎日を過ごし、物を手に入れるために身をやつします。しかし、私たちがこの世を去った後、人が思い起こすのは、私たちが生前乗っていた車でも、着ていた服でも、肩書きでも、役職でもありません。より大きな資産や、より高い地位を得ようと払った努力のことでありません。

結局のところ、私たちの人生の価値は、どれほど得たかではなく、どれほど与えたかによって判断されるのです。

ですから、苦しんでいる人から目を背けずに、その苦しみを和らげてあげましょう。同情の言葉をかけるだけでなく、実際に何かしてあげましょう。社会から享受するだけでなく、社会に貢献しましょう。

2015-16年度の私たちのテーマは「世界へのプレゼントになろう」です。

地位や身の上にかかわらず、才能、知識、能力、努力、そして献身と熱意など、誰でも与えることのできる何かを持っているはずで、私たちは、ロータリーを通じて、これらを世界にプレゼントすることで、誰かの人生に、そして世界に、真の変化を起こすことができるはずで、

「人は手を閉じて生まれ、手を開いて世を去る」、また「己の才能は、天から授かったもの」と言われます。ですから私たちは、その授かりものをお返しするのです。

私たちは皆、この世に生まれ、何でもつかみ取ろうとしますが、この世を去るときにはすべてを残していきます。ロータリーを通じて私たちは、いつまでも続く、本物の何かを残すことができるでしょう。私たちに与えられた時間は今です。この機会は二度と訪れるものではありません。

「心あたたまる、お接待をしよう」



国際ロータリー第 2670 地区
2015-2016 年度ガバナー 山田 戒 乗

K.RラビンドランRI会長はスリランカの人、インド系の教養を持つ人です。会長指針のように人生のとらえ方のスパンは長い。『Be a gift to the world』が、『世界へのプレゼントになろう』と訳されました。いつの間にかギフトがプレゼントになっています。英語の達人に聞くとプレゼントはパーティなどで交換するとき、ギフトは神から与えられた才能、見返りを求めない貢献（途上国など）に使うそうです。この日本語訳は難しいと思いました。ラビ会長は「Be a gift to the world」というテーマを考えているとき、ヒンズー教を通じて私が学んだことのある教訓を思い出しました。非常に貧しい少年スダマは神の化身として王家に生まれたクリシュナの親友でした。二人の少年は成長するにつれ少しずつ疎遠になりました。クリシュナは軍を率いる名高き王となり、一方村人スダマは貧しい生活をおくっていました。何年か経って、スダマが困窮し子供に食事を与えることもできなくなりました。妻は「幼い頃親友だったクリシュナに助けを求めよう」といいます。最初は躊躇していたスダマもしまいに同意し、手ぶらでは申しわけないと、明日子供に食べさせるくず米を布に包んで持って行きました。スダマを見たクリシュナは大喜びし親切に愛情を持って迎えました。その高貴な生活ぶりに圧倒されたスダマは恥ずかしく米をさしだすことができません。クリシュナは「何を隠しているの」とたずね、布を開いて中の米を喜んで食べました。数時間後かわらぬ友情に感激したスダマはクリシュナのもとから去りました。帰路スダマは当初の目的を忘れたことに気づき、子供たちがお腹をすかせていることを思い出しました。しかし、自宅に着くとスダマが家を出たときとはうってかわって御殿のような家になっています。家の前には綺麗な服を着た家族が立ち、十分な食事をすましてスダマの帰りを今か々と待っていました。

神の化身クリシュナはスダマが自分のためにありったけの米をギフトに持ってきてくれたことを知っていました。クリシュナはスダマが必要なものをすべて与えたのです。この教訓は受け手にとって大切なのはその物質的な価値ではなく、贈り主の心がどれだけ心がこめられているかということです。この話を聞いて私は「高野山の貧女の一灯」を思い出しました。高野山奥の院灯籠堂に立派な灯籠が三つあります。白川灯、昭和灯、貧女の一灯です。我々募金等いわれたとき貧女の一灯とつかいます。が、主人公お照が女の命である髪を切って売り誠意をこめ寄進したものです。長者の万灯と比較されます。長者の万灯と一緒にまつりしました。突然疾風がありましたが、お照の灯だけは消えなかったのです。また、平成2年渡印のおり、バナラシーで舟に乗って観光し、対岸に渡って沐浴しました。熱心なヒンズー教徒のパラモンガイド、パンカジュ（蓮華の意）は「ここの聖なる水で沐浴すると一日ホカホカして調子いいよ。人々は何百kmも歩いてこの水を汲みに来る。そして保管しておき病気のとき飲むと良くなる。ただし、水を汲んできたらずご近所に配らないとその功德はない」と。ラビ会長のいいたいのは単にプレゼントの交換ではなく、誠意を込めて、それぞれが良くなるギフトだと思います。なんだか心のおくで東洋人は共感を持てることばのように思いました。

それなら四国では『お接待の心』とおきかえてよろしいのではありませんか。2670地区の方針としては「心あたたまるお接待を」とします。

しかし、「お接待」といえば道ばたで何か品物をおくるイメージですが、ダライ・ラマ法王猊下は「人助けをするだけではいけない。人助けを通じもっとも大事なことは自分を向上させることだ」といわれました。自分を向上させることこそがロータリーのもっとも基本です。

「お接待のために」

I ロータリーの原点に返って

1. 職業奉仕を考えよう。

1905年ポール・ハリスによって創立されたロータリークラブは当初「親睦・互恵」のクラブでした。アサー・シェルドンの入会によって「He profits most who serves best」が提唱されました。1902年シェルドンビジネススクールの教科書に出てくる語句です。Profitとは総費用を超えて受けた余剰の価値で金銭的な意味に限定しています。百年前のアメリカは生き馬の目を抜く弱肉強食の商売でした。そこにサービスという概念を持ち込み、リピーターを増やし、顧客満足度高い経営方法です。これをロータリーにとり入れた結果百年

続いたといえます。各クラブに田中毅PGの「シェルドンの森」という本をお配りします。各クラブ輪読会等で勉強してください。ハーブの「四つのテスト」その30年後大恐慌のときです。

2. 会員増強（それほど昔ではありません）

イ) 四国のロータリーの全盛時代は世が平成になり十年ぐらいまでが全盛ではなかったでしょうか。そのとき輝かしいメンバーがたくさんおられました。それから何かの原因（ご高齢、会社不振等々）で50人クラブが30人になってしまいました。私は徳島第一分区のガバナー補佐の体験通じて思うには、そのときの栄光が実は壁になって会員増強と維持のためにロータリーのすばらしさの誇りとをメンバーの意識を後のものに伝えることが出来ないでいるように思えてなりません。ロータリーのすばらしさは内部にいと十分意識されていないのではありませんか。とにかく楽しい仲間を増やそうではありませんか。

ロ) 今日RCのピンをつけていますか。私は裁判所の調停委員20年ほどの間、調停委員バッジを用いず。ロータリーピンで過ごしました。裁判官が「それは何かね」聞くのでロータリーの特に四つのテストの話をしたものです。必ずロータリーピンをつけましょう。

ハ) ここ3-5年何人はいって何人やめていったか。その原因は何か、検証して見ましょう。

ニ) 中長期計画に「我がクラブは何人がもっとも適正か」議論する必要があります。

ホ) 危機感を持つ。少人数クラブの平均年齢は何歳か・・・

ヘ) 国家資格を持つロータリアン候補者を再度洗い出す。

例えば推奨ロータリークラブ細則には「有資格者」による監査がうたわれている。では皆さんのクラブに税理士、公認会計士はいますか？弁護士、社会保険労務士、土地家屋調査士、司法書士、薬剤師、看護師、柔道整復士、セラピスト、介護士等々枚挙にいとまありません。またタウンページにたくさんの職業があります。邪道ですが互恵も考えては？

ト) 衛星クラブという案もあります。

員数を維持向上するため、各クラブのリーダーの方々（会長や古参会員等）は新しい会員に対し、良き相談相手となって頂くとともに、例会のあり方、時間、場所、会費など、柔軟な運営を考えてください。

奉仕活動（ロータリーで言うサービス）というと堅苦しく考えがちですが、私の考える奉仕とは、他人（ひと）のためになることです。他人のためになる何かをするということは、他人を満足させるだけでなく、自分の満足でもあります。では、どれ位頑張ってサービスすべきでしょうか？超私の奉仕という言葉があります。私も感銘を受け、大好きな言葉ですが、全身全霊、命をささげての奉仕という風には考えていません。自分の能力を一寸超える程度、少し背伸び、あるいは軽くジャンプすれば出来る程度のレベルのサービスから

始めましょう。これまで、さまざまな奉仕活動に尽力してこられた方々はさらに高いレベルを目指して、これから何かしようという方々は先輩に習って、地域で、世界で、ちょっといいことをしようではありませんか。

それにはローターアクターやロータリアンの子弟で結成するとよいのでは。パイロット事業としてやってみてはいかがでしょうか。

チ) 例会時間を考える。朝、昼、午後、夜にすることで参加がしやすくなります。

そうして今年目標は10%増を考えてください。

II END POLIO NOW

1. 1980年に天然痘が根絶宣言をしたように私どもの世代にポリオを絶滅しようではありませんか。

RIの最重点施策は「ポリオ撲滅」です。とって、ポリオという病気をご存じでしょうか。団塊世代以後の日本人には見かけられない病気です。それは1961年、1960年に北海道での大流行があって当時の古井喜実厚生大臣が「責任はすべて私にある」と当時国交のなかったソ連と友好国カナダから生ワクチンを緊急輸入しました。それから絨毯作戦を重ね日本では過去の病気となっています。世界でポリオ撲滅を始めたのは麴町RCクラブの山田ツネさん、峰英二さんです。今ではパキスタン、アフガニスタン、ナイジェリアの三国になっています（ナイジェリアはごくわずか）あと一息です。ラビ会長のお母さんもポリオであったことを初めて語りました。ポリオの話ですでに財団の話になっています。

2. 「世界平和フェロー」の養成

RI財団はポリオを最重点ですが、「世界平和フェロー」の養成を行っています。日本では「国際基督教大学」内にセンターがあります。四国と遠い存在ですが、RID2670も応分の負担をしています。

3. DDF

我々の財団寄付が3年して半分かえってきます。その中から各クラブの社会奉仕へ振り分けられています。若干名DDFの奨学生も出しています。

4. グローバル補助金

社会奉仕活動はグローバル補助金へハードルをあげてください。

5. ロータリーカードを作ってください。

(このカードを持てるのはロータリアンだけです) ご利用いただくとご利用金額の0.3%と年会費の一部がポリオ撲滅の活動資金として自動的に充てられます。さらに、貯まったポイントでロータリー財団にご寄付いただくこともできます。

かくして財団寄付をお願いします。今年度財団寄付目標は、年次寄付150\$ (含エンドポリオ30\$) としてください。

Ⅲ ロータリー米山奨学会への寄付。

米山奨学会は全部ロータリアンの寄付によっています。運用し、各地区の寄付額、留学生数によって配分されます。

特色は1) 世話クラブがあること

2) ロータリアンのカウンセラーがいること

3) 第一級の奨学金であることです。

米山奨学生は目に見えます。ご寄付をお願いします。

今年度の目標は、普通寄付6千円、特別寄付1万円をお願いします。

Ⅳ 奉仕活動

1. 青少年奉仕

地区の共同事業としては

イ) 青少年長期交換

小さな外交官として勉強はもちろん国際親善・国際理解に寄与するためのものです。世界各地のロータリアンに保護されています。

ロ) 青少年短期交換

ニュージャージーとの交換は36年間継続されています。RID2670が世界に誇る事業です。そのPRとホームステイ先をぜひお願いします。

ハ) インターアクト、ローターアクトを支援します。

ニ) ライラ

RID2680 (兵庫) との共同事業で元368地区の面影を残す事業です。今年から5月になります。小豆島沖、与島で行います。また、春休みには「少年少女キャンプ」があります。

ホ) 危機管理

地区、各クラブで行うすべての青少年事業にたいし、危機管理のことを十分にお考えください。怪我のみならずセクハラ、パワハラ、等々です。相手が危機というと危機なのです。

「RIJYEC」基金100円を200円にさせていただきます。

2. 国際奉仕

各クラブで世界社会奉仕が盛んになりました。グローバル補助金へ向かってください。

3. 社会奉仕

各クラブで伝統的な社会奉仕活動があることと思います。伝統にのっとり進めてください。しかし、長年続いたものを今一度振り返ってみるのも一考かと思います。そのとき広報委員会と連携してPRをお忘れなく。

4. クラブ奉仕

親睦を中心とするクラブ奉仕によって楽しいクラブ作りは活気をうみ退会防止につながります

V クラブ組織をスマートに

戦略計画委員会をつくって、中長期的な視野でクラブ運営を考えよう。クラブ研修リーダーの活用も一考です。

Ⅵ 広報・IT

1. 広報委員会はまず、自らのクラブに知らしめること、次に地区内への広報 (ガバナー月信をご利用ください) 第三に外部に向いマスコミ・ソーシャルメディアへのPRをお願いします。

2. IT

ITを使わざるを得ません。すでに今年1月からMy RotaryをつかってRIへの報告が義務づけられ、人頭分担金の請求となりました。今日お集まりのロータリアンの皆様My Rotary に登録されていますか。会長賞をエントリーするにはロータリーセントラルに記入し成熟度を記録しなければなりません。できればコンピューター持参の講習会も考えたいと思います。

Ⅶ 国際大会に出席を

次年度の国際大会は「ソウル」です。一番近い国です。この地区から300人出席を目標としています。

【1】 国際ロータリー会長 K. R. ラビンドラン氏のテーマ

「世界へのプレゼントになろう」 「Be a gift to the world」

誰でも与えることのできる何かを持っているはずですが。私たちは、ロータリーを通じて、これらを世界にプレゼントすることで、誰かの人生に、そして世界に、真の変化を起こすことができるはずですが。

私たちに与えられた時間は、今です。この機会は二度と訪れるものではありません。

「世界へのプレゼントになろう」

【2】 地区ガバナー 山田戒乗氏の運営方針

「心あたたまる、お接待をしよう」

1. ロータリーの原点に戻って

I. 職業奉仕を考えよう

アサー・シェルドンの「He profits most services best」

2. 会員増強

イ 楽しい仲間を増やそう

ロ ロータリーピンをつけよう

ハ 退会した会員の退会原因は、何か

ニ 中長期計画に適正会員数を議論する必要がある

ホ 危機感を持とう 会員の平均年齢は何歳か

へ 国家資格を持つ候補者を洗い出す

ト 衛星クラブという案もある

チ 例会時間を考える 参加しやすい時間帯は

リ 今年の目標は10%増

II. END POLIO NOW

1. ポリオを絶滅しよう あと一息です

2. 「世界平和フェロー」の養成 国際基督教大学内にセンターがある

3. DDFの利用

4. グローバル補助金へレベルアップ

5. ロータリー財団への寄付目標 特別寄付1万円 お願い

III. 米山奨学への寄付

目標 普通寄付金 6千円 特別寄付金 1万円 お願い

IV. 奉仕活動

1. 青少年活動

- イ 青少年長期交換 小さな外交官を目指して
 - ロ 青少年短期交換 ニュージャージーとの交換
 - ハ インターアクト、ローターアクトの支援
 - ニ ライラ 2680 地区との共同事業
 - ホ 危機管理 すべての青少年事業に危機管理を考える
2. 国際奉仕 世界社会奉仕が盛ん グローバル補助金へ
3. 社会奉仕 各クラブの伝統的な社会奉仕活動の継続・変更・PR
4. クラブ奉仕 親睦中心のクラブ作り

V. クラブ組織をスマートに

中長期的な視野でクラブ運営を考える クラブ研修リーダーの活用も

VI. 広報・IT

- 1. 広報委員会 クラブ内外にPRを
- 2. IT My Rotary に登録を

VII. 国際大会に出席を

次年度の国際大会はソウル 地区から 300 人出席を目標

【3】本年度のクラブ運営方針

- ①職業奉仕－会員職場の現場視察を実施
- ②会員増強－目標 10%増の拡大を計る
- ③DDEの利用－継続事業として「みかんの香るまち宇和島を児童から」
- ④インターアクトクラブへの支援－年次大会、例会出席、多くの会員に協力をお願いする
- ⑤継続事業－「よい子達とのみかん狩り」の実施 危機管理を考える
- ⑥財団 米山奨学会への寄付－地区の方針にそえる努力をする
- ⑦例会－夜間例会の回数の検討をする
- ⑧RCの活動のPR－機会あるごとにマスコミを利用しRCを知ってもらう
- ⑨伊達 400 年祭・国体について－参加または寄付の協力をお願いする
- ⑩クラブ研修リーダーの活用－新入会員の教育指導を強化する
- ⑪国際大会ソウル－1 人でも多くの会員の参加のため全員積立金をする

以上、二度目の会長職を努めます。六年ぶりの再登板となります。

創立 75 周年記念式典が終わり、大きな行事がないので、気を抜かず原点に戻って、揺るぎのない宇和島ロータリークラブにしていこうと思っています

会員皆様のご理解とご協力、よろしくお願い致します。

2013-2014 年度 宇和島ロータリークラブ役員・理事

(役員)	会 長	杉 脇 達 也
	副 会 長	亀 岡 明 彦
	幹 事	島 原 茂
	副 幹 事	中 村 大 輔
	会 計	森 本 真 二
	S. A. A	野 本 政 孝
	副 S. A. A	萩 森 盛 一
	会長エレクト	亀 岡 明 彦

(理事)	理 事	杉 脇 達 也
		島 原 茂
		萩 森 盛 一
		石 丸 正 敏
		亀 岡 明 彦
		森 本 真 二
		中 村 大 輔
		野 本 政 孝
		渡 部 太 輔

2015-2016年度 宇和島ロータリークラブ委員会構成

委員会		委員長	委員			
職業奉仕		今城利彦	清家義幸	高木常樹	吉田公世	加藤雅彦
社会奉仕		萩森盛一	石丸正敏	清家義幸	野本寿	
国際奉仕		中村大輔	萩森盛一	亀岡明彦	山下修史	
新世代活動		森本真二	畑中貴博	渡部太輔	森川直樹	
環境保全		兵頭睦弘	渡辺重栄	野本寿		
ロータリー財団		石丸正敏	亀岡明彦			
米山奨学		渡部太輔	地中 進			
クラブ奉仕	クラブ奉仕	亀岡明彦				
	出席	中村大輔	兵頭睦弘	森川直樹	加藤雅彦	
	親睦	地中 進	山下修史	畑中貴博	森本真二	野本寿
	情報・雑誌・広報	島原 茂	森川直樹	山下修史		
	会員増強・分類	野本政孝	清家義幸			
	会員選考	今城利彦	石丸正敏	渡辺重栄		
	プログラム	渡部太輔	地中 進	中村大輔	兵頭睦弘	
	スマイルニュース	森本真二	今城利彦	畑中貴博	加藤雅彦	
	姉妹クラブ特別	渡辺重栄	高木常樹	吉田公世		
S・A・A		野本政孝	(副SAA)	萩森盛一		
宇和島RCの明日を考える		野本政孝				

2015—2016 年度 行事予定表

月	行 事	月	行 事
7	◇ ・夜間例会(21日) ☆定例理事会(28日)	1	◇ ローターリー理解推進月間 ・新年家族会(5日) ・愛媛第2分区IM(23日) ☆定例理事会(28日)
8	◇ 会員増強・新クラブ結成推進月間 ・IAC年次大会(8/1~8/2) ・例会休会(4日) ・例会休会(11日) ・日振島クリーン計画(11日) 夜間例会(18日) ☆定例理事会(25日)	2	◇ 世界理解月間 ・R創立記念日(23日) 世界理解と平和週間(2/23~2/29) 夜間例会(16日) ☆定例理事会(23日) ・会長エレクト研修セミナー(28日)
9	◇ 新世代のための月間 ・クラブ協議会(1日) ・ガバナー公式訪問例会(15日) ・例会休会(22日) ・南予合同例会親睦会(25日八幡浜) ☆定例理事会(29日)	3	◇ 識字率向上月間 ◇ 世界ローターアクト週間 ・宇和島南高定時制卒業者表彰 ・例会休会(8日) ・夜間例会(15日) ☆定例理事会(29日)
10	◇ 職業奉仕月間 米山月間 ・夜間例会(20日) ☆定例理事会(27日)	4	◇ ローターリー雑誌月間 ・例会休会(5日) ・夜間例会、観桜会(12日) ・地区協議会(17日) ☆定例理事会(26日)
11	◇ ローターリー財団月間 ・例会休会(3日) ・よい子達とのみかん狩り(10日) ・夜間例会(17日) ☆定例理事会(24日)	5	◇ ・例会休会(3日) ☆定例理事会(17日) ・夜間例会(24日) ・R.I.国際大会(27日~30日) ・例会休会(31日)
12	◇ 家族月間 ・通常会員総会(理事選挙)(1日) ☆次年度理事会(1週間以内) ・夜間例会(15日) ☆定例理事会(22日) ・例会休会(29日)	6	◇ ローターリー親睦活動月間 ☆定例理事会(21日) ・最終例会(夜間28日)

クラブ概況

平成 27. 7. 1 現在

幹 事 島 原 茂

1. クラブ沿革

(1) 創 立

- a. 年 月 日 1 9 4 0 年(昭和 1 5 年) 6 月 2 1 日
- b. R. I. 承認 1 9 4 0 年(昭和 1 5 年) 7 月 2 6 日
- c. 登 録 番 号 R 1 5 2 7 2
- d. 日本 R. C. 創立順位 3 7

再 承 認

- a. 再 創 立 1 9 6 5 年(昭和 4 0 年) 6 月 2 0 日
- b. 日本 R. C. 再承認順位 6 9 3
- c. R. I. 再承認 1 9 6 5 年(昭和 4 0 年) 8 月 1 2 日
- d. 認証状伝達式典 1 9 6 6 年(昭和 4 1 年) 4 月 1 0 日

(2) スポンサークラブ

松山東 R. C.

2. クラブの区域

宇和島市及び北宇和郡、南宇和郡、東宇和郡

3. 会 員 区 分

会員総数	23名
正 会 員	22名
名 誉 会 員	1名
チャーターメンバー	33名(うち在籍者0名)

4. 会員の年齢構成

平均年齢	54.85歳
最 年 長	75歳
最 年 少	33歳

年 代 分 布

39歳以下	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
3名	2名	8名	5名	2名
15%	10%	40%	25%	10%

5. 会員数・出席率推移

年 度	入 会 者 数	退 会 者 数	年度末会員数	平均出席率%	地区平均%
1965~66	33+6	5	3 4	83.03	91.54
1966~67	3	4	3 3	78.50	91.55
1967~68	4	2	3 5	87.26	92.54
1968~69	4	4	3 5	87.06	92.61
1969~70	9	7	3 7	83.74	92.38
1970~71	1 1	8	4 0	86.21	91.12
1971~72	1	3	3 8	80.29	91.87
1972~73	2	3	3 7	82.31	92.04
1973~74	5	4	3 8	86.57	92.65
1974~75	5	2	4 1	85.77	98.86
1975~76	5	3	4 3	85.31	93.21
1976~77	2	4	4 1	85.16	93.37
1977~78		3	3 8	85.08	93.87
1978~79	7	2	4 3	86.75	94.78
1979~80	4	7	4 0	87.11	94.69
1980~81	1	5	3 6	87.81	94.72
1981~82	5	6	3 5	86.86	95.12
1982~83	7	6	3 6	87.82	95.13
1983~84	2	1	3 7	90.96	95.02
1984~85	8	8	3 7	85.75	94.39
1985~86	6	1	4 2	90.99	94.41
1986~87	5	5	4 2	86.80	93.34
1987~88	5	5	4 2	87.40	93.45
1988~89	9	1 0	4 1	84.56	92.45
1989~90	4	6	3 9	84.14	91.97
1990~91	6	5	4 0	84.96	89.91
1991~92	2	4	3 8	85.33	92.25
1992~93	5	4	3 9	85.71	93.12
1993~94	9	5	4 3	86.72	90.43
1994~95	4	4	4 3	84.85	91.28
1995~96	7	4	4 6	87.57	90.17
1996~97	4	2	4 7	88.08	90.58
1997~98	4	5	4 1	85.97	88.06
1998~99	5	6	4 3	85.76	89.38
1999~2000	6	6	4 3	86.44	89.42
2000~2001	2	9	3 8	82.60	89.12
2001~2002	3	5	3 6	83.55	89.41
2002~2003	5	4	3 7	89.27	89.05
2003~2004	2	2	3 7	88.12	89.60
2004~2005	1	5	3 3	83.61	89.21
2005~2006	2	2	3 3	81.45	84.70
2006~2007	6	3	3 2	76.35	86.23
2007~2008	1	7	2 4	82.01	87.60
2008~2009	2	4	2 3	85.39	86.96
2009~2010	1	5	1 9	79.12	86.85
2010~2011	2	7	1 4	76.88	86.86
2011~2012	2	3	1 3	85.19	85.19

年 度	入 会 者 数	退 会 者 数	年度末会員数	平均出席率%	地区平均%
2012～2013	4	1	16	83.26	85.50
2013～2014	2	1	17	78.34	
2014～2015	4	1	20	72.30	86.04
2015～2016					

6. 会員在籍年数（平成27年7月1日現在）

33～45年未満	0名	18～19年未満	0名	9～10年未満	2名
32～33年未満	0名	17～18年未満	0名	8～9年未満	名
31～32年未満	0名	16～17年未満	0名	7～8年未満	1名
27～30年未満	1名	15～16年未満	0名	6～7年未満	2名
25～26年未満	0名	14～15年未満	1名	5～6年未満	0名
23～24年未満	0名	13～14年未満	0名	4～5年未満	1名
21～22年未満	1名	12～13年未満	0名	3～4年未満	2名
20～21年未満	1名	11～12年未満	1名	2～3年未満	4名
19～20年未満	0名	10～11年未満	0名	1年未満	3名

7. 皆出席会員(通算)（平成27年6月30日現在）

26年間 渡辺 重栄	6年間 萩森 盛一	3年間 島原 茂
16年間 野本 政孝	5年間 亀岡 明彦	2年間 今城 利彦
12年間 石丸 正敏	4年間 高木 常樹	1年間 地中 進
8年間 森本 真二	4年間 中村 大輔	
7年間 杉脇 達也	4年間 渡部 太輔	

8. クラブの諸会合

例 会	と き	毎週火曜日 12:30～13:30
	と ころ	宇和島弁天町 1-318-6 宇和島きさいや広場
総 会		12月上旬開催(次年度役員・理事選挙)
理 事 会	定 例	毎月最終例会日に開催
	臨 時	必要に応じその都度召集
クラブ協議会		年4回開催予定
委 員 会		委員長が必要に応じてその都度開催

9. 姉妹クラブ

仙 台 東R. C. (D-2520)	1973年(昭和48年)	4月24日締結
カトマンズR. C. (D-3290)	1980年(昭和55年)	8月20日締結

10. スポンサーをつとめた新設クラブ

八幡浜 R. C. 1967年12月 3日創立

11. スポンサーをつとめたインターアクトクラブ

宇和島南高等学校 I. A. C. 1996年 6月 8日承認証伝達式典

12. 記念事業

(1) 創立記念

●消防自動車ロータリー号 (宇和島消防署) ●愛の徐行塔・交通標識塔 (栄町ロータリー)

(2) 5周年記念

●タクシー乗場オーニング (JR宇和島駅前)

(3) 10周年記念

●野外球技場 (宇和島勤労青少年ホーム)

(4) 15周年・創立40周年・R. I 創立75周年記念

●ネパール農民塾建設協力金寄付 500,000円

●米山奨学会寄付 100,000円

(5) 20周年記念

●宇和島市立図書館へ寄付 500,000円

(6) 25周年記念

●記念例会

(7) 30周年記念

●宇和島市社会福祉協議会へロータリー号(軽自動車) 2台、介護用ベッド5台寄贈

(8) 35周年記念

●記念例会

(9) 40周年記念

●「青少年作文コンクール弁論大会」

●ロータリー財団寄付金 400,000円

(10) 75周年記念

●記念講演「超高齢化社会における日本の役割」 講師：酒向正春

●コインロッカー贈呈 (城山登山口)

13. 受賞

(1) 意義ある業績賞

1980～81年度 国際親善 1982～83年度 青少年活動

(2) ロータリー財団 5,400%達成 1987～88年度

(3) マルチプルポールハリスフェロー

渡辺 重栄 2002年9月 野本 政孝 2006年4月

(4) 会員増強・拡大賞、小規模クラブ会員増加表彰 2013年10月

14. 義援金

東日本大震災 (平成24年3月11日) 福島原発事故も伴う大地震が発生。

仙台東RC へ義援金 50万円 (平成24年6月) 会長・幹事が持参する。

第2670地区へ義援金 50万円

15. 歴代会長及び幹事（再創立後）

	年 号		会 長	幹 事
初代	1965～66年	(昭和40～41年)	(故)中 浦 実	(故)酒 井 秀次郎
2代	1966～67年	(昭和41～42年)	(故)武 田 博	森 川 茂
3代	1967～68年	(昭和42～43年)	(故)奥 窪 剛之	村 重 享
4代	1968～69年	(昭和43～44年)	(故)実 藤 盛男	(故)大 下 宏
5代	1969～70年	(昭和44～45年)	(故)藤 堂 満義	(故)中 重 義
6代	1970～71年	(昭和45～46年)	(故)三 好 金久	(故)山 口 喜多男
7代	1971～72年	(昭和46～47年)	(故)河 野 伝	(故)石 丸 良久
8代	1972～73年	(昭和47～48年)	村 重 享	古 用 保
9代	1973～74年	(昭和48～49年)	(故)中 重 義	(故)稲 田 正俊
10代	1974～75年	(昭和49～50年)	(故)酒 井 秀次郎	(故)菊 池 俊雄
11代	1975～76年	(昭和50～51年)	(故)大 下 宏	松 浦 昭男
12代	1976～77年	(昭和51～52年)	(故)石 丸 良久	(故)上 田 和男
13代	1977～78年	(昭和52～53年)	(故)稲 田 正俊	芳 谷 謙二
14代	1978～79年	(昭和53～54年)	(故)沢 井 進堂	(故)上 田 永三
15代	1979～80年	(昭和54～55年)	森 信 功	山 本 桂助
16代	1980～81年	(昭和55～56年)	(故)有 間 重喜	片 桐 三樹
17代	1981～82年	(昭和56～57年)	古 用 保	山 崎 康輔
18代	1982～83年	(昭和57～58年)	(故)山 口 喜多男	松 浦 昭男
19代	1983～84年	(昭和58～59年)	芳 谷 謙二	松 尾 武彦
20代	1984～85年	(昭和59～60年)	松 浦 昭男	酒 井 純孝
21代	1985～86年	(昭和60～61年)	(故)上 田 永三	(故)伊勢家 正雄
22代	1986～87年	(昭和61～62年)	片 桐 三樹	(故)山 内 金次郎
23代	1987～88年	(昭和62～63年)	山 本 桂助	渡 辺 重栄
24代	1988～89年	(昭和63～平成1年)	田 中 哲	(故)林 和敏
25代	1989～90年	(平成1～2年)	(故)伊勢家 正雄	正 木 啓介
26代	1990～91年	(平成2～3年)	(故)山 内 金次郎	渡 部 正
27代	1991～92年	(平成3～4年)	渡 部 正	西 田 良三
28代	1992～93年	(平成4～5年)	渡 辺 重栄	中 村 在徹
29代	1993～94年	(平成5～6年)	酒 井 純孝	酒 井 俊明
30代	1994～95年	(平成6～7年)	正 木 啓介	松 浦 貫四郎
31代	1995～96年	(平成7～8年)	(故)岡 紀興	上 田 干城
32代	1996～97年	(平成8～9年)	(故)林 和敏	井 上 浩三
33代	1997～98年	(平成9～10年)	西 田 良三	河 野 和重
34代	1998～99年	(平成10～11年)	中 村 在徹	野 本 政孝
35代	1999～2000年	(平成11～12年)	松 浦 貫四郎 (平成12年5月迄)	伊 藤 哲男
36代	2000～01年	(平成12～13年)	上 田 干城	木 熊 良生
37代	2001～02年	(平成13～14年)	酒 井 俊明	石 丸 正敏
38代	2002～03年	(平成14～15年)	野 本 政孝	松 本 直幸
39代	2003～04年	(平成15～16年)	伊 藤 哲男	井 上 浩三
40代	2004～05年	(平成16～17年)	井 上 浩三	武 田 元介
41代	2005～06年	(平成17～18年)	石 丸 正敏	伊 藤 哲男
42代	2006～07年	(平成18～19年)	松 本 直幸	山 下 英夫
43代	2007～08年	(平成19～20年)	高 木 常樹	杉 脇 達也
44代	2008～09年	(平成20～21年)	山 下 英夫	亀 岡 明彦
45代	2009～10年	(平成21～22年)	杉 脇 達也	森 本 真二
46代	2010～11年	(平成22～23年)	亀 岡 明彦	萩 森 盛一
47代	2011～12年	(平成23～24年)	森 本 真二	村 尾 明弘
48代	2012～13年	(平成24～25年)	萩 森 盛一	渡 部 太輔
49代	2013～14年	(平成25～26年)	渡 部 太輔	森 本 真二
50代	2014～15年	(平成26～27年)	野 本 政孝	杉 脇 達也
51代	2015～16年	(平成27～28年)	杉 脇 達也	島 原 茂
52代	2016～17年	(平成28～29年)		

宇和島ロータリークラブ内規

慶弔交際費 1982.12.7 理事会承認 (1983.1.1 施行)		
項 目	現 行(円)	備 考
本人の結婚	20,000	
本人の死亡	20,000	
家族の死亡	10,000	※親子, 配偶者
夫人の出産	10,000	*1994年9月27日理事会承認(改訂) *理事会審議する場合あり
入院・長期療養	10,000	
海外クラブ公式訪問餞別	20,000	
子女の結婚	20,000	
災 害	理事会審議	
他クラブ死亡	〃	
記念行事	〃	
そ の 他	〃	

スマイル自祝科 1998.6.23 理事会承認		
項 目	現 行(円)	備 考
会員誕生日	2,000	
奥様誕生日	2,000	
結婚記念日	2,000	
創業記念日	2,000	
入会記念日	2,500	
届出欠席	1,000	1989.3.28 理事会承認(改正) 1989.5.1 施行
無断欠席	3,000	
遅刻・早退	1,000	
バッチ忘れ	1,000	

委員会活動計画方針

活 動 計 画

(2015～2016 年度)

職業奉仕委員会活動計画

委員長	今	城	利	彦
委員	清	家	義	幸
委員	加	藤	雅	彦
委員	高	木	常	樹
委員	吉	田	公	世

活動方針

職業奉仕は、ロータリークラブとロータリアン両方の責務であり、奉仕の理想を生かしていくことを育成・支援するために、道徳的水準を守り、推進していき、共に活動して行くこととする。

活動計画

1. 講師を招いて卓話等を計画し、職業奉仕に対する具体的活動への参考とする。
2. 年に数回職場訪問を実施し、訪問先職場の社会に対する価値を認め、職業奉仕の参考とする。

* 1、2共にプログラム委員会と連携し計画実施していく。

社会奉仕委員会活動計画

委員長	萩 森 盛 一
委員	石 丸 正 敏
委員	清 家 義 幸
委員	野 本 寿

活 動 方 針

健全な青少年の育成の為の社会奉仕活動を実践する。

活 動 計 画

- ①10月～11月頃に第29回「よい子達とのみかん狩り」を実施する。
・内容は、例年と同様とする。
- ②「みかんの香るまち宇和島を児童カラプロジェクト」に協力する。

国際奉仕委員会活動計画

委員長	中	村	大	輔
委員	萩	森	盛	一
委員	亀	岡	明	彦
委員	山	下	修	史

活動方針

ロータリーの第四奉仕部門として、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進する。

活動計画

- (1) 短期交換学生の送出しや受入態勢の充実に努め、短期交換プログラムへの協力を行う。
- (2) 2月（平和と紛争予防／紛争解決月間）には特に世界平和のために必要な理解と親善に関する啓蒙活動を行う。
- (3) 新世代活動委員会の活動に協力する。
- (4) 地区委員会からのプロジェクト案内等を会員に周知する。

新世代活動委員会活動計画

委員長 森 本 真 二
委員 畑 中 貴 博
委員 渡 部 太 輔
委員 森 川 直 樹

活 動 方 針

本年度、宇和島南中等教育学校が文部科学省からスーパー・グローバル・ハイスクール（SGH）指定されました。「グローバル時代に対応する持続可能な地域社会を支える人材育成の研究」をテーマに、

- ①グローバルな視点から地域社会の活性化に貢献できる人材。
- ②グローバルな社会問題の解決に取り組む人材。
- ③チャレンジ精神旺盛な「学びの即戦力」となる人材を育成することを目標として掲げております。

このSGH事業を全面的にサポートすることで、宇和島南中等教育学校の協力と理解を得て、IACとの連携・交流を一層深め、共に奉仕の心が生まれる事を目指します。

活 動 計 画

クラブ会員全員の協力により下記事業を行います。

- ①8月1日～2日に行われる2670地区IAC年次大会への参加
- ②よい子達とのみかん狩りに協力・参加
- ③IAC活動へのサポート、主にIAC例会への積極的参加と例会での卓話を行う
- ④夏季・冬季の休暇中には、IACの会員をRC例会に出席を促す

ロータリー財団委員会活動計画

委員長 石丸正敏
委員 亀岡明彦

活動方針

ロータリー財団の使命はロータリアンが人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて世界理解・親善・平和を達成できるようにすることです。財団の活動に対する理解を深めその活動に貢献できるように努めます。

活動計画

①財団プログラムの理解と支援

(ポリオプラス・ロータリー平和フェローシップ 補助金 ロータリー財団学友)

②年次寄付の要請

(毎年あなたも 150 ドルを目標に)

③地域社会の活性化の継続的支援

(未来の夢計画 - 地区補助金の活用)

プロジェクト名：「みかんの香るまち宇和島を児童から

米山奨学委員会活動計画

委員長 渡部 太輔
委員 地中 進

活 動 方 針

米山奨学会は、日本で学ぶ外国人留学生の支援、交流を通じて国を超えた信頼関係を築き、世界の平和を願う心を育てるため、日本全国のロータリアンからの寄付金を財源として、奨学金を支給し、支援する民間最大の奨学財団である。

活 動 計 画

- ① 米山記念奨学会の理解のための情報提供をする。
- ② 財源である寄付金を奨励し、米山功労者の増強を計る。
- ③ 10月の米山月間には、米山記念奨学会の理解の推進を計る。
- ④ 米山奨学生との交流及び国際理解の機会を設ける。

環境保全委員会活動計画

委員長 兵 頭 睦 弘
委員 渡 辺 重 栄
委員 野 本 寿

活 動 方 針

「地球の温暖化」は、地球上に住む人間や動物・植物に大きな痛手を被っており、環境問題は今、誰もが避けることができない深刻な問題となっています。鬼ヶ城山系や宇和海等、緑と海に囲まれた雄大で美しい自然が息づいている宇和島の自然の保全をはじめ、ゆとりと豊かさを損なうことのない環境保全に関する啓発活動や環境教育に積極的に取り組み活動を行う。

活 動 計 画

- ①会員及び事業所において環境問題に取り組み地域の環境保全に努める。
(例えば、会合において食べ残し「ゼロ」並びに、産業廃棄物の削減等自らの問題として、できることから着実に実行する)
- ②講師（宇和島市役所市民環境部長等）を招いて宇和島市の環境問題への取り組みについて部内卓話の計画と本会の活動への助言をいただく。
- ③環境保全活動を行っているロータリアンとの交流。

クラブ奉仕委員会活動計画

委員長 亀岡明彦
委員 クラブ奉仕部門
の各委員長

活動方針

会長、幹事を補佐し、クラブ奉仕部門の全委員会が一丸となって建設的なクラブ運営を行える様 努力する。

活動計画

- ① 各委員会の活動計画を把握し、その遂行に協力する。
- ② 各委員会の委員長と連携してスムーズなクラブ運営を目指す。
- ③ 会員増強と会員親睦を重要課題とし各委員会が共に協力し会える体制を整える。
- ④ ロータリー活動をより地域に理解されるよう継続的な広報活動を行う。

出 席 委員会活動計画

委員長 中 村 大 輔
委 員 兵 頭 睦 弘
委 員 森 川 直 樹

活 動 方 針

例会出席はクラブ会員の義務であることを自覚し、ロータリー活動の最も重要な基本原則の一つとして、100%出席を目標とする。

活 動 計 画

- (1) 例会会場に出席表を掲示する。
- (2) 出席状況を定期的に報告し、出席・メイクアップを奨励し、促していく。
- (3) 皆出席の方々には記念品を贈呈し、敬意を表して発表する。
- (4) 地区大会、IM等、諸会合への出席を促し、ロータリアンの輪を広げる。

親 睦 委員会活動計画

委員	長	地	中	進
委	長	山	下	史
委	員	畑	中	貴
委	員	森	本	博
委	員	岡	部	二
				郎

活 動 方 針

ロータリークラブ全体で取り組む奉仕活動、レクレーション行事
社会的行事への積極的な参加を奨励するとともに会員相互の親睦や
友情を深める機会を設営します。

活 動 計 画

- (1) 毎月第一例会において、会員及びご夫人の誕生日並びに結婚記念日
創業記念日、入会記念日を披露し会員皆で祝います。
- (2) 原則として各月第三例会において親睦夜間例会を開催します。
また、納涼例会(新規)、観月例会、新年例会、花見例会については
原則家族例会とします。なお、時期については適宜お知らせします。
- (3) 例会時、来賓等がある場合には、委員会は青タスキをかけ接客に
努めます。なお、来賓等には会員一丸となり安心して参加して頂け
るよう接客に努めることとします。

情報・雑誌・広報委員会活動計画

委員長 島 原 茂
委員 森 川 直 樹
委員 山 下 修 史

活 動 方 針

地元報道機関との交流を深めるとともに、地域社会にロータリークラブの存在と活動を積極的に示す。

活 動 計 画

1. 地元報道機関へ情報提供し、交流と親睦を深めクラブ活動が紹介されるよう努力する。
2. 委員会報告で「ロータリーの友」の中から興味ある記事を紹介する。

会員増強・分類委員会活動計画

委員長 野 本 政 孝
委 員 清 家 義 幸

活 動 方 針

ロータリアンになっていただく人ですから職業的にも人格的にも
恥じることのない方を選考し、熱心に入会をお願いしたい。
会員全員が委員長の気持になって周りを見れば仲間になっていただく方は
多いと思います。

活 動 計 画

ロータリアン2世の方々に、お話しを聞きにいきたい。
職業分類をよく調べ未充填の職業の方を探す。
向上心があり奉仕に対する心がけ、その人自身が社会に奉仕する力をつける。
また、職業を通じ奉仕することを理解できるよう学習する。
毎月一度夜間例会を開催する事から、部外者にロータリーを体験して頂く。

会員選考委員会活動計画

委員長 今 城 利 彦
委員 石 丸 正 敏
委員 渡 辺 重 栄

活 動 方 針

理事会より諮問された会員推薦者についてロータリークラブへの入会が適正であるか調査し、理事会へ意見を報告する。

活 動 計 画

諸会合への出席が可能（特に例会）かどうかを重点的に確認し、名前だけの入会に終わらないよう十分な確認をする。

プログラム委員会活動計画

委員長	渡	部	太	輔
委員	地	中		進
委員	中	村	大	輔
委員	兵	頭	睦	弘

活 動 方 針

例会が楽しく有意義なものになるよう、各委員会、各会員並びに専門分野の部外卓話者に協力を戴きプログラムを編成するように努める。

活 動 計 画

①年間スケジュール表を配布する。

* 各月スケジュールを、1ヶ月前の定例理事会までに作成、これを提出して理事会の承認を得る。

②部内卓話

会員に年2回程度の部内卓話をお願いする、卓話テーマは卓話者に一任する

③部外卓話

2ヶ月に1回程度の部外卓話をお願いします。

④ロータリー活動月間には、担当委員会に卓話をお願いする。

スマイルニュース委員会活動計画

委員長 今 城 利 彦
委員 加 藤 圭 哉

活 動 方 針

嬉しかったことや、会員の個人の記念日等に善意の寄付をすることがスマイルと定義づけられています。加えて、来賓・ビジターの方々へのご挨拶、クラブ会員卓話への応援、会員相互のコミュニケーション等々、会員の皆さんにご協力をお願いします。

活 動 計 画

1. 毎例会時半数以上の方に、スマイルにご協力いただくような雰囲気作りに努める。
2. 来賓・ビジターの方々のお名前・肩書き等を会場入り口にホワイトボードにて表記する。
3. 卓話される方のお名前・卓話タイトルを会場入り口にホワイトボードにて表記する。
4. ニュースの発表は各委員輪番制とし、はきはきと明確に楽しくおこなう。
5. 新入会員にはスマイルニュースに関して丁寧に説明し、理解を得てご協力いただく。

姉妹クラブ特別委員会活動計画

委員長 渡 辺 重 栄
委員 高 木 常 樹
委員 吉 田 公 世

活 動 方 針

姉妹クラブを結んでいる仙台東ロータリークラブとの友好を計ることに務める。

活 動 計 画

- (1) 仙台東ロータリークラブを訪問し情報交換する。
- (2) 会報を交換する。
- (3) 昨年度、当クラブ 75 周年記念式典に参加していただいたことに対する感謝の気持ちを込めて一度訪問をする。
- (4) 地震災害に直面したカトマンズRCとの対応を検討する。

S. A. A. 活動計画

委員長 野 本 政 孝
副 S.A.A 萩 森 盛 一

活 動 方 針

クラブ例会をはじめ、ロータリアンの会合に際して気品と風紀を守り
会合が秩序正しく使命を発揮できるよう設営、監督を目指す。

活 動 計 画

1. 楽しく例会を進行。
2. 来賓、ビジターに対する心からの持て成し。
3. 例会時間の厳守。
4. 夏期（5月～9月）は、クールビズにて
但し、ロータリーバッジ及びロータリーマークの着用を厳守。

宇和島RCの明日を考える委員会活動計画

委員長 野本政孝

活動方針

ロータリークラブの在り方を考え、円滑なクラブ運営を図るため
クラブ会長・幹事を補佐する。

活動計画

1. 必要に応じて、細則の変更手続きを行う。
2. クラブ会長、理事会の要請に即座に対応する。
3. 未来ある中長期的なビジョンを会員に提案する。

宇和島ロータリークラブ

事務局 〒798-0060 宇和島丸之内1丁目3-20

宇和島バスセンター2F

TEL (0895)22-2648

FAX (0895)24-1339

[E-mail : u-rc@mxi.netwave.or.jp](mailto:u-rc@mxi.netwave.or.jp)

例会場 〒798-0006 宇和島弁天町1-318-6

宇和島きさいや広場

TEL (0895)22-3934